



三星の風

第81号

平成26年

11月28日

鹿児島県立

鹿屋高等学校

think globally act locally

郷土の歴史や自然の理解を礎に

十一月二十一日（金）、昭和四十年代から発展・継承されてきた本校伝統の「野外実習」が一年生を対象に実施されました。

この野外実習は、郷土の歴史及び地理や自然に直接触れたり、車窓から観察することによって郷土への関心と郷土を愛する心を培い、郷土を語る力を身に付けることを狙いとしたものです。

七クラスが南回りコースと北回りコースに分かれ、実習を行いました。訪問先は次のとおり。

- ・土持堀深井戸（串良町）
- ・唐仁古墳群（東串良町）
- ・歴史民俗資料館（肝付町）
- ・塚崎古墳群及び大楠（肝付町）
- ・柏原海岸（東串良町）
- ・肝付本城跡（肝付町）
- ・横山採石場（肝付町）
- ・武家屋敷跡（吾平町）

事前に何度も下見と研修を積まれた先生方の熱意あふれる説明に生徒達は集中して聞き入っていました。

肝付本城跡



柏原海岸



塚崎の大楠



横山採石場



職業講話

十一月八日（土）、地元各界で活躍される8名の方々に講師としてお招きし、職業講話を実施しました。職業感を育成することと文理選択について深く考える機会とすることを目的とした一年生を対象にした企画で、業務内容や現在の職業に至るまでの過程、職業選択に当たっての心構えなどについて講話いただきました。

十一月八日（土）、

地元各界で活躍される8名の方々に講師としてお招きし、職業講話を実施しました。



講師の先生方

- 木下大輔（販売）
- 柿野賢治（マスコミ）
- 室田志保（芸術）
- 鑪周作（建築）
- 光同菜月（公務員）
- 金沢公人（サービス）
- 池田大輔（医療）
- 田原謙一（出版）

主な行事予定

十二月（師走）

- 一日（月） 期末考査〔～三日〕
- 六日（土） 三星道場⑧
- 三者面談開始（三年）
- 八日（月） 公開授業
- 一二日（金） クラスマッチ
- 一四日（日） 開陽高校スクーリング
- 一七日（水） ラグビー地区大会会場
- 二〇日（土） 三星道場⑨
- 二四日（水） 終業式 朝課外終了
- 二五日（木） 冬季課外〔～二六日〕
- 二七日（土） 北予備マーク（三年）
- 〔～二八日〕
- 三年特別学習会
- 〔～一月五日〕

一月（睦月）

- 六日（火） マーク演習（三年）
- 〔～七日〕
- 八日（木） 始業式
- センター試験激励会
- 実力考査（一・二年）
- 〔～九日〕

※ 都合により変更・追加の場合あり。詳細は学校にお問い合わせください。

この「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kanoya/>

「鹿屋高等学校」でも検索できます。

本校のホームページでは、連絡メッセ

ージも流しています。御覧ください。

～ think globally act locally ～ 古都を尋ねて 2学年修学旅行

十一月十八日(火)から二十一日(金)の三泊四日の日程で修学旅行が実施されました。各航空会社の大阪行き機材小型化の影響もあり、今年是新幹線で移動する行程となりました。一日目の嵐山の散策と二日目の京都市内別研修で京都を満喫した後、三日目はまず奈良公園へ。東大寺から春日大社を巡り、一路大阪へ。USJで時の経つのを忘れ、たくさんのアトラクションとショッピングを楽しんだ後は神戸港へ。今年初の企画となる瀬戸内海クルージング。夜景を眺めながらの食事とサブライズ演出。舌鼓を打った後、甲板や客室内で思い思いのひとときを過ごすしました。

最終日は神戸大学 統合研究拠点での講義と3D世界の可視化最先端技術に触れ、新神戸駅へ。2分間で約三百名が新幹線に乗り込むと先生方も安堵。高校到着時はあいにくの雨でしたが、全行程天候にも恵まれ、楽しく思い出深い修学旅行となったことでしょう。



↑ 京都での夕食
↓ 明石大橋を眺めながら食事。



↑ 船内でのサプライズ誕生日おめでとう
↓ 神戸大学での講義



↑ 今年は新幹線利用
↓ 一番の楽しみ！
今年もやっぱり・・・



↑ 紅葉がきれいでした
大仏殿の名所。見事成功 ↓



学年PTA開催

十一月二十日(木)、三年生の学年PTA及び学級PTAが実施されました。今回は大学入試の最新動向や状況分析と受験校決定のための三者面談の話題がメインで、学年・学級それぞれの場で、受験生としての生徒との関わり方を保護者の方々と一緒に考えました。



↑ 学級PTAでの1コマ



↑ 学年主任が現状報告

市長と語る会

十一月九日(日)鹿屋市役所にて、鹿屋市内の6高校の代表が参加し、「本気で語ろう会」～学生とかのやの未来を語ろう会～が開催され、本校からは生徒会長の新名主優子さん(二年 花岡中出身)が参加しました。



鹿屋市の将来を担う各高校を代表する生徒のみなさんも、最初は固かったものの、少しずつ緊張も解け、市長といろいろと語り合うことができました。

編集後記

修学旅行の二日目は京都自主研修。生徒達を見送った後、先生方も途中指導を兼ねて銘銘のコースへ出発。まずは三年生の合格祈願に北野天満宮へ。そこで一枚の葉っぱをもらいました。これは「タラヨウ」という木の葉(左写真)で、葉書の語源となるもの。紙が貴重な時代にはメモ用紙代わりに使われて、書き留めたものを整理して紙に清書していたそうです。実際に切手を貼って出していた頃もあったそうです。



↑ 裏側
↓ 表側